



研究者名※	福山博文	学位※	博士(経済学)
所属※	家政学部 家政経済学科	職名※	准教授
連絡先	fukuyamah@fc.jwu.ac.jp		
URL			
researchmap※	https://researchmap.jp/uguyava		
研究分野※	社会科学		
研究キーワード※	理論経済学、経済政策		
共同研究・競争的資金等の研究課題	<ul style="list-style-type: none"> ・プロスペクト理論によるスポーツ観戦行動の理論・実証研究(科学研究費・基盤C・研究代表者、2019～2021年) ・行動経済学的アプローチによるプロスポーツチームの利他的行動と集積効果の検証(科学研究費・挑戦的萌芽研究・研究代表者、2016～2018年) ・プロスポーツチームの生み出す非利用価値と集積効果に関する理論・実証研究(科学研究費・挑戦的萌芽研究・研究代表者、2013～2015年) 		
社会貢献・産学官連携活動等	<ul style="list-style-type: none"> ・鹿児島県土地改良事業団体連合会 赤土等流出防止効果評価検討委員会委員(2009年11月～2011年1月) ・鹿児島市環境審議会委員(2012年6月～2019年3月) 		
受賞歴	<ul style="list-style-type: none"> ・日本地域学会 学会賞 第13回奨励賞(2004年) ・日本地域学会 学会賞 第10回著作賞(2011年) 		

研究領域	(SDGs)
研究テーマ※	プロスペクト理論によるスポーツ観戦行動の研究
概要※ (概ね1000字以内) (写真・グラフ等自由)	<p>【研究の背景・目的・内容】 本研究は「人々がスポーツ観戦に行く動機は何か」という学術的「問い」に対し、ミクロ経済・計量経済分析を用いた新たな方法で接近する研究提案である。具体的には、【1】スポーツ観戦者と複数のチームで構成されるスポーツリーグからなる経済モデルを構築し、【2】日本プロ野球(NPB)の試合レベルのデータを用いて、NPB観戦者の観戦動機はホームチームが勝つことを強く望む損失回避性に基づくものなのか、それとも拮抗したチーム同士の白熱した試合を望むUncertainty of Outcome仮説に基づくものなのかを検証している。</p> <p>【応用例、研究の展望】 本研究はスポーツ観戦者の人口分布からホームスタジアムへの距離を測り、本拠地への空間的距離の近さが損失回避性をもつ傾向を強くするのかどうかを空間経済学の観点から検証する。心理的側面と空間的側面の両面からスポーツ観戦行動について考察する本研究の挑戦は伝統的なスポーツ・エコノミクスの研究に新しい方法論を提案するものである。</p> <p>【研究方法の特色】 スポーツ・エコノミクスの文献を幅広く収集している。</p>
本研究関連特許・論文等	・Hirofumi Fukuyama, “Sports viewing behaviour with loss aversion and competition balance,” Applied Economics Letters 1-6 2021.
共同研究・外部機関との連携への期待	・ ・